

所沢市医師会学術講演会

平成27年6月25日(木)19:10～(本講演は19:30～)

所沢看護専門学校 3F 視聴覚室

座長 宮本町内科クリニック 院長 竹内 昭彦

講師 昭和大学医学部救急医学講座 教授

昭和大学病院救命救急センター長・救急医学科診療科長

三宅 康史 先生

「熱中症の最新事情～その対策と治療～」

抄録

地球温暖化、急速な高齢化と孤立化、マスコミ・医療関係者を含めた啓発の拡がり、本邦における熱中症の急増を招いている。暑熱環境下の筋肉運動によって発症する労作ア性熱中症に比べ、熱波の襲来によって高齢者が日常生活中に落ちる古典的熱中症が、より重症で死亡率も高くなる傾向にある。日本救急医学会「熱中症に関する委員会」(委員長:三宅康史)では、2006年より隔年で全国救命救急センターを中心に診療した熱中症症例を登録し、その実態調査を行ってきた。2012年夏からは前日に入院した熱中症症例の情報をFAXを用いて収集し、年齢、重症度、発生場所などを厚生労働省HP上に公開してきた。また、2015年3月には、世界初の熱中症診療ガイドラインを発刊し、本邦独自の重症度診断基準とともにその利用促進を図っている。

今回は、夏期4か月の受診者数が20～40万人に上るレセプトデータに基づく熱中症受診者の実態、現場で一般市民の方ができる重症度分類と緊急性の判断、行うべき応急処置、救命救急センターで行われる最新の診断・治療などについてわかりやすくお話しさせていただきます。

ご略歴

昭和60年3月 東京医科歯科大学医学部医学科 卒業

昭和60年4月 東京大学医学部附属病院救急部 入局

昭和61年1月 公立昭和病院 脳神経外科/救命救急センター(ICU)/外科

平成4年6月 同医長

平成8年10月 昭和大学医学部救急医学/昭和大学病院救命救急センター助手

平成12年4月 さいたま赤十字病院救命救急センター長・集中治療部(ICU)部長

平成15年5月 昭和大学医学部救急医学准教授

平成23年4月 昭和大学病院救急救命センター長・救急医学科診療科長

平成24年10月 同教授

現在に至る



